

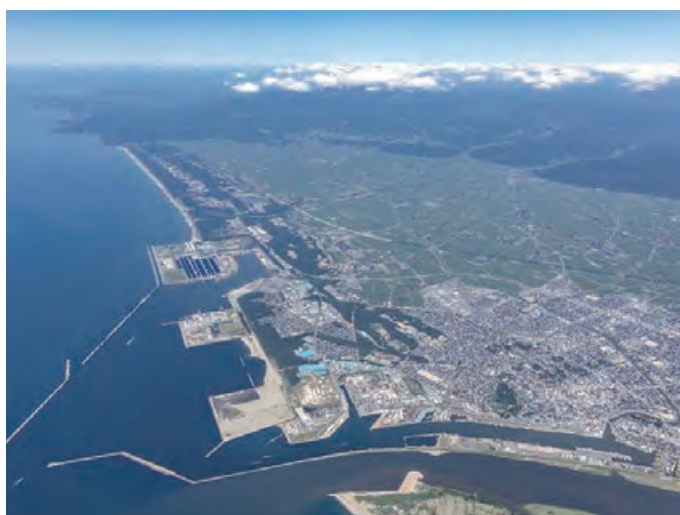
酒田港

山形県県土整備部空港港湾課

〒990-8570 山形市松波2-8-1

☎023-630-2628

URL : <http://www.port-of-sakata.jp>



1. 概況

酒田港は北緯38度56分、東経139度49分、最上川の河口に位置し、鳥海山、出羽三山に囲まれた庄内平野の要衝にあり、その背後は耕地整然たる水田地帯で、庄内米120万石を産する米どころである。また、平野の西にある砂丘地帯は延長約35km、幅1.5～3kmの我が国最大砂丘の一つといわれている。

酒田港を有する酒田市は、古くから「坂田」とか「砂潟」と呼ばれ、和銅5年(712年)、大和朝廷が出羽国を建て蝦夷を平定していた頃より出羽文化の中心として栄えたといわれ当時は最上川の河口を利用した漁業が中心であった。

寛文12年(1672年)河村瑞賢が江戸・出羽間の西回り航路を開拓したことにより、上方との物資の交易が繁榮し、享保9年(1724年)には米(雑穀を含む)、655,000俵が積み出され、3,000余隻に及ぶ帆船が出入りする輻輳ぶりだったと記されている。

明治に入ると、最上川の相次ぐ出水により流出土砂で河口が定まらず、帆船から汽船、船型の大型化への移行に加えて奥羽本線等の開通により、港の利用は漸次衰えるに至った。

大正になると、陸羽西線、羽越本線と相次ぎ主要鉄道が開通し、益々港の衰えが目立ったが、その主たる原因は最上川の河道が定まらず、水深が維持できないことにあった。

大正6年、河道整正が内務省の手によって実施されることになり、河川と港湾を分離する背割堤が計画され、ここに初めて近代港湾としての第一歩を踏み出すことになった。

昭和初期までは、北海道、樺太方面との交易が中心であったが、国の大陸政策が進展するにつれ、本港は満州、朝鮮方面の交易上重要な港として位置づけられ、昭和4年第2種重要港湾に指定され、昭和8年酒田町が市政を施行してからは名実ともに本県の海の玄関口となるとともに、鉄興社、日新電化、花王石鹼等各企業が立地し、商工業港としての性格を鮮明にすることになった。

戦後、昭和23年1月開港場指定され、昭和26年港湾法の施行とともに重要港湾の指定を受け、山形県総合開発計画においても地域開発の中核をなす港湾として位置づけられたことから、酒田港本港地区の開発及び整備が計画的に進められ、現在1万5千トン級1バース、1万トン級2バースを保有している。

さらに、港湾取扱貨物量の増大と船舶の大型化への対応や地域振興のため、昭和42年と昭和45年の港湾計画の改訂を経て、本港の北方3kmの地点に掘込式の開発拠点新港(北港地区)建設を計画し、昭和45年に着工、昭和49年11月のソ連

船第1船入港をもって、開港を迎えた。以来、取扱貨物量も順調に推移し、平成17年には過去最高の410万トンを記録し、昭和59年6月には5万トン級第1船が入港する等、港湾計画に基づいて着実に整備され、現在は5万トン級3バース(内専用1バース)、1万5千トン級3バースが完成供用している。

また、平成3年10月には庄内空港が開港し、平成13年8月には東北自動車道酒田線が全線開通するなど、県内内陸地方、仙台及び首都圏を連絡する高速交通ネットワークの整備拡充が進んでいる。海上交通では、平成4年の中国黒竜江省と酒田港を結ぶ「東方水上シルクロード」の開設に続き、平成7年には「酒田-釜山港間コンテナ定期航路」が開設されるなど、近年急速に環日本海圏経済交流が活発化し、外内貿、生産、交流の拠点として酒田港の果たす役割は重要になってきている。

平成15年4月には、国土交通省より総合静脈物流拠点港(第2次リサイクルポート)に指定され、全国21カ所の静脈物流ネットワークのうちのひとつに位置づけられた。これにより、酒田港におけるリサイクル貨物の取扱量は大幅に増加し、酒田港に隣接する臨海工業団地へのリサイクル関連企業の進出、循環資源貨物の集積が進むなか、風力発電などの再生可能エネルギー施設の稼働が始まるなど、変貌する酒田港の新たな姿が見えつつある。

さらに、平成22年8月には「重点港湾」に選定、平成23年11月には「日本海側拠点港(リサイクル貨物)」選定されるなど、県だけでなく日本海側の海上輸送の拠点となる港として新たな時代へと躍進している。

北港、外港地区は、国際コンテナターミナルや大型船に対応した岸壁を有し、日本海東北自動車道の酒田みなとICから2kmという好条件を活かして、山形自動車道を経由して県内陸部と直結し、山形県の物流の拠点として機能を発揮している。令和6年5月には従来からの国際航路に加え、本県初となる内航フィーダー航路が開設された。

また、北港地区には大小様々なクルーズ船が寄港しており、近年右肩上がりで寄港回数が増加していることから、観光分野への更なる寄与が期待されている。

令和6年4月には洋上風力発電における基地港湾に指定され、海洋再生可能エネルギー発電設備の拠点としての整備が進められている。

一方、本港地区は、「飛鳥」航路のターミナルや、山居倉庫、海鮮市場などの観光施設、漁船やプレジャーボートの係留施設があり賑わい空間として栄えている。

2. 港勢

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	198	2,876,943	23	1,369,114	6	116,838	128	1,251,310
内航商船	394	888,721					8	53,628
自航 その他	1,313	119,460						
合計	1,905	3,885,124	23	1,369,114	6	116,838	136	1,304,938

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	16	78,924	24	59,961	1	796		
内航商船	164	692,834	8	19,820	69	56,769	145	65,670
自航 その他	1	3,900	4	7,468	7	4,608	1,301	103,484
合計	181	775,658	36	87,249	77	62,173	1,446	169,154

最大入港船舶のトン数 137,936 総トン（喫水 11.8 m）

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	147,076	100.0	396	0.3	6,693	4.6	72	0.0	3,930	2.7
輸入	1,692,374	100.0	5,292	0.3	98,368	5.8	1,510,315	89.2	30,502	1.8
計	1,839,450	100.0	5,688	0.3	105,061	5.7	1,510,387	82.1	34,432	1.9
移出	225,921	100.0	13	0.0			101,075	44.7	478	0.2
移入	629,817	100.0	1,085	0.2	379	0.1	166,262	26.4	2,088	0.3
計	855,738	100.0	1,098	0.1	379	0.0	267,337	31.2	2,566	0.3
合計	2,695,188	100.0	6,786	0.3	105,440	3.9	1,777,724	66.0	36,998	1.4

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	39,992	27.2	612	0.4	25,714	17.5	69,667	47.4		
輸入	12,753	0.8	17,973	1.1	13,767	0.8	3,404	0.2		
計	52,745	2.9	18,585	1.0	39,481	2.1	73,071	4.0		
移出	119,561	52.9	1,536	0.7	12	0.0	3,161	1.4	85	0.0
移入	459,782	73.0	59	0.0	12	0.0	121	0.0	29	0.0
計	579,343	67.7	1,595	0.2	24	0.0	3,282	0.4	114	0.0
合計	632,088	23.5	20,180	0.7	39,505	1.5	76,353	2.8	114	0.0

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出	38,630	3,675	1,736
輸入	71,176	5,622	409

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	18,010	9,003	9,007
内国航路	19,769	9,891	9,878
計	37,779	18,894	18,885

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面 水深 (m)	延長 (m)	最大けい 船能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力 (t)	基 数	棟 数	使用 面積 (㎡)	
(公 共)											
大 浜 埠 頭	大 浜 埠 頭 第 1 岸 壁	9.0	330	10,000	2				1	2,000	鉱産品
	大 浜 埠 頭 第 2 岸 壁	5.5	90	2,000	1						
西 埠 頭	西 埠 頭 岸 壁	10.0	185	15,000	1				2	618	鉱産品、化学工業品
		4.5	53	700	1					1,429	金属工業品
	西 埠 頭 -5.5m 岸 壁	5.5	180	2,000	2						鉱産品、化学工業品
東 埠 頭	東埠頭新町岸壁	7.5	260	5,000	2				1	1,185	農水産品、金属工業品、化学工業品、軽工業品
	東 埠 頭 船 場 町 岸 壁	5.5	360	2,000	4						
	東 埠 頭 船 場 第 2 岸 壁	4.5	195	700	3						
水 産 埠 頭	水産第1岸壁 (-5.5m)	5.5	70	199	1						水産品
	水産第1岸壁 (-4.5m)	4.5	70	150	1						〃
	水産第2岸壁	5.5	196	300							〃
		4.5	180	150							
袖 岡 埠 頭	袖岡埠頭岸壁	7.5	390	5,000	3						化学工業品
古 湊 埠 頭	古 湊 埠 頭 第 1 号 岸 壁	13.0	270	50,000	1						林産品、鉱産品
	古 湊 埠 頭 第 2 号 岸 壁	10.0	185	15,000	1						林産品、化学工業品 鉱産品、金属機械工業品
	古 湊 埠 頭 第 3 号 岸 壁	10.0	185	15,000	1				1	2,012	鉱産品、金属機械工業品、特殊品
	古湊けい船杭	10.0	253	15,000	1						〃
宮 海 埠 頭	宮海第4号岸壁	7.5	130	5,000	1						特殊品
	宮海第5号岸壁	7.5	130	5,000	1						鉱産品、特殊品
	宮海第3号岸壁	7.5	130	5,000	1				1	3,000	鉱産品、化学工業品
	宮海第2号岸壁 (耐震)	10.0	170	5,000	1						
高 砂 埠 頭	高砂第2号岸壁	13.0	280	50,000	1	コンテナク レーン	吊上 能力 47.6	1	2	1,392	農水産品、金属工業品、化学工業品、雑工業品、コンテナ
	高砂第1号岸壁	13.0	152	50,000		リーチス タッカー	47.9 45.0	1 3		3,033	
(私 設)											
酒田石油基地協議会	大浜石油栈橋	7.0	92	3,000	1						石油品
		7.5	137	5,000	1						
酒田共同火力発電(株)	酒田共同火力 専用岸壁	13.0	270	55,000	1	アンローダー			2		鉱産品
	酒田共同火力 専用岸壁	7.5	160	15,000	1	連続U	1,500 t/h	1			〃
	酒田共同火力 揚油ドルフィン	7.5 (13.0)	324	5,000 (50,000)	2	〃	400 〃	1			石油品
(株) 青 南 商 事	青南商事専用岸壁	7.5	186.2	6,000	1						特殊品

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場 (原木) (鉱産品、その他)	-	246,446㎡
	-	29,617㎡
	-	216,829㎡
普通倉庫	12	8,771㎡
	-	-
	-	-
	-	-
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊地		
区分	水深(m)	面積(㎡)
錨泊地	30	785,000
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	10	6,000
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(㎡)
酒田市定期航路事務所	1,160
酒田海洋センター 酒田北港緑地展望台	722

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	31,106.3m
新交通・鉄道 (酒田公共臨港線)	1,923.7m
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

北港地区

埠頭名	高砂埠頭
ターミナル面積	140,790㎡
岸壁延長	432m
水深	14.0m
荷役機械	GC2基
アウトリーチ	38.8m
リーファープラグ	12基
荷役方式	リーチスタッカー方式

5. マリーナ

区分 名称など	施設規模			収容能力				上下架施設 (能力、基数)	泊地水深 (m)	開設年度	関連施設	
	陸域 (㎡)	水域 (㎡)	防波堤延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボートヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮棧橋 (隻分)					固定棧橋 (隻分)
第1酒田プレジャーボートスポット 〒998-0064 酒田市大浜1丁目地内291 ☎0234-26-5635	17,201	12,800	130	281	122		159		2	平成8年度		
第2酒田プレジャーボートスポット 〒998-0064 酒田市大浜2丁目2番地内	12,000	26,600	44	250	58		192		3	平成19年度		

6. 緑地

区分 名称	面積(㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
					利用施設	附属施設
大浜緑地	26,854	-	休憩緑地	昭和53年度		東屋、トイレ
北港第1号緑地	14,000	-	休憩緑地	昭和62年度		東屋、トイレ
北港第2号緑地	110,831	-	レクリエーション緑地	平成5年度	多目的広場	トイレ
北港第3号緑地	10,400	-	修景緑地	平成11年度	展望台	遊歩道
船場町緑地	27,020	-	シンボル緑地	平成15年度	多目的広場、遊具	東屋、トイレ

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名 称	所 在 地	電話番号	業 種			
			一 般	港湾荷役		は し け
港 湾 荷 役 (-貫)	船 内	沿 岸				
酒田海陸運送(株)	〒998-0036 酒田市船場町2-6-19	0234-22-1801	○			
日本通運(株)山形支店酒田海運営業所	〒998-0005 酒田市宮海字八郎畑1-31	0234-35-1288	○			

水先

水 先 区	水 先 人 会 事 務 所 所 在 地	電話番号	会員数
酒田	〒998-0037 酒田市日吉町2-4-22 セービング日吉B棟22号	0234-43-8306	2

曳船

名 称	所 在 地	電話番号	馬 力	隻数
酒田曳船(株)	〒998-0036 酒田市船場町2-6-7	0234-24-2360	3,600、3,600、3,100	3

廃油処理施設

名 称	所 在 地	電話番号	処理能力 (t/D)
酒田港廃油処理施設	〒998-0837 酒田市下瀬1-1	0234-26-5635	16m3

医療・厚生施設

(港湾)

区 分	名 称	所 在 地	電話番号
総合厚生	酒田港湾労働者福祉会館	〒998-0063 酒田市南新町2-3-7	0234-23-4039
	東北港湾福利厚生協会 酒田北港休憩所	〒998-0005 酒田市宮海明治329-6	
	東北港湾福利厚生協会酒田港 国際ターミナル休憩所	〒998-0075 酒田市高砂232	

9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
仙台出入国在留管理局酒田港出張所	〒998-0036 酒田市船場町2-5-43 (酒田港湾合同庁舎内)	0234-22-2746
東京税関酒田税関支署	〒998-0036 酒田市船場町2-5-43 (酒田港湾合同庁舎内)	0234-22-1024
仙台検疫所酒田出張所	〒998-0036 酒田市船場町2-5-43 (酒田港湾合同庁舎内)	018-846-8280
植物貿易検査業務調整室	〒998-0036 酒田市船場町2-5-15 (山形県港湾事務所内)	0234-26-5639
東北運輸局山形運輸支局	〒998-0036 酒田市船場町2-5-43 (酒田港湾合同庁舎内)	0234-22-0084
酒田海上保安部	〒998-0036 酒田市船場町2-5-43 (酒田港湾合同庁舎内)	0234-22-1830
東北地方整備局酒田港湾事務所	〒998-0061 酒田市光ヶ丘5-20-17	0234-33-6311
山形県港湾事務所	〒998-0036 酒田市船場町2-5-15	0234-26-5633

酒田港

酒田港港灣計畫圖

